



## ■ 各事業区分と売上高

本決算説明資料では、当社の事業を以下4つの区分に分けて説明しています。

### ① リースファンド事業

航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業(リースファンド事業)の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。

売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しております。なお、投資家への組合出資持分・信託受益権の販売額は売上高として計上しておりません。

### ② 不動産ファンド事業

株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っています。

売上高は、投資家への不動産小口化商品を販売する際に受け取る手数料を計上しております。ただし、開発案件については、投資家への販売額を売上高として計上しております。

### ③ FinTech事業

当社グループが保有する様々な金融・不動産ライセンスとデジタル技術を組み合わせた新たな金融商品・サービスの提供に取り組んでいます。

2021年4月にはFinTech事業の第1弾となる「給与前払いサービス『Q給』」の提供を開始しました。

上記以外にはITシステムの受託開発、ネットワークインフラ構築等を行っています。

売上高は、システム開発、ネットワークインフラ構築に関わる業務受託料等を計上しております。

### ④ その他事業

保険事業、M&A事業、プライベートエクイティ事業および航空事業等を総称して、「その他事業」としてしています。

売上高は、保険事業やM&A事業における手数料、プライベートエクイティ事業における譲渡収益、航空事業における輸送や航空撮影等の対価を計上しております。

## 2021年9月期 上期決算

- 売上高・利益ともに、2020年10月30日公表の上期業績予想を大幅に上振れ（4月26日に上方修正公表済）、四半期純利益を除き、コロナ禍発生前となる前年同期を上回る水準に回復
- リースファンド事業は、第1四半期にAir Mauritiusの損失処理を完了
- 不動産ファンド事業は、不動産小口化商品の売上高が上期・通期ベースで過去最高

## 今後の方針・通期見通し

- 不動産ファンド事業は、不動産小口化商品の組成・販売を一層拡大
- FinTech事業は、第1弾となる給与前払いサービス『Q給』をリリース  
顧客獲得に注力するとともに、第2弾、第3弾となる開発を推進
- 今後の新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済環境悪化の可能性も鑑み、  
通期業績予想（2020年10月30日公表）を据え置き
- 株主還元方針は変更無し（2021年9月期の配当予想：1株当たり16.5円）

## ■ 前年同期比

- ・ 売上高は、前年同期を上回る水準まで回復。営業利益は、採算性の改善により増益
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、Air Mauritius関連の損失およびFPG証券の通貨関連店頭デリバティブ取引の譲渡に伴う特別損失が合計約12億円発生するも、前年同期比横ばい

## ■ 上期予想比

- ・ 増収に加え、採算性の改善により、すべての利益項目で大幅に上振れ(4月26日上方修正を公表済)

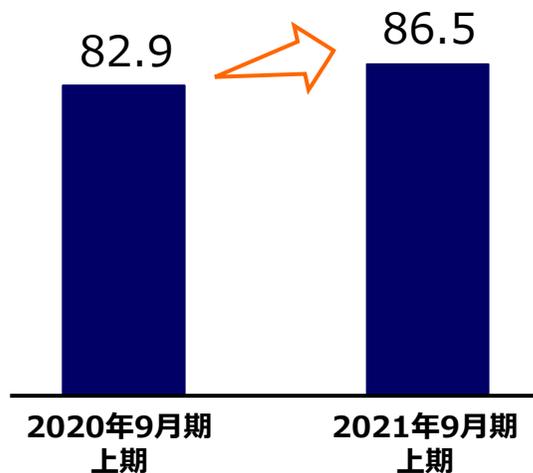
(億円)

	2020年9月期 上期	2021年9月期 上期	前年同期比 ( )内は増減率	2021年9月期 上期予想 (10/30公表)	上期予想比 ( )内は増減率	2021年9月期 通期予想 (10/30公表)	進捗率
売上高	82.9	86.5	+3.6 (+4.4%)	71.3	+15.2 (+21.4%)	138.6	62.4%
売上総利益	61.9	68.4	+6.5 (+10.6%)	-	-	-	-
販売費・一般管理費	30.6	32.3	+1.7 (+5.6%)	-	-	-	-
営業利益	31.3	36.1	+4.8 (+15.5%)	24.7	+11.4 (+45.9%)	45.4	79.5%
経常利益	32.1	32.2	+0.1 (+0.3%)	21.4	+10.8 (+50.4%)	40.0	80.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22.1	21.6	▲0.5 (▲2.0%)	15.0	+6.6 (+44.5%)	28.0	77.4%
売上高総利益率	74.6%	79.1%	+4.4pt	-	-	-	-
売上高営業利益率	37.7%	41.7%	+4.0pt	34.7%	+7.0pt	32.8%	-
売上高当期純利益率 <sup>※</sup>	26.7%	25.0%	▲1.6pt	21.0%	+4.0pt	20.2%	-

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益を示す

# 前年同期との比較

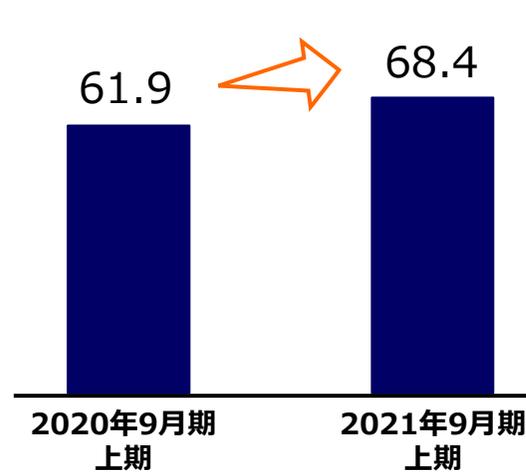
## 売上高 (億円)



**売上高増 +3.6**

・不動産ファンド事業の  
売上高が大幅に増加

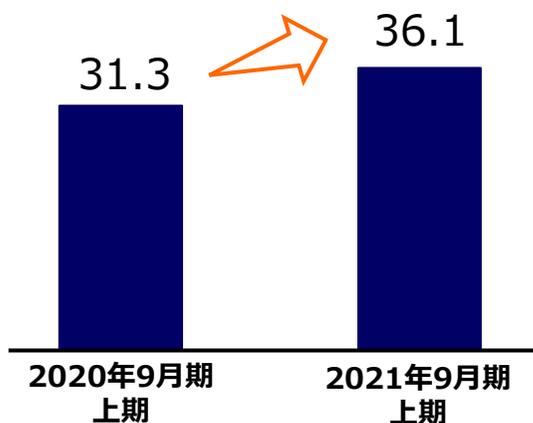
## 売上総利益 (億円)



**売上総利益増  
+6.5**

・Air Mauritius関連の  
評価損(4.9億円)を  
第1四半期に計上も、  
売上総利益率が改善し増益

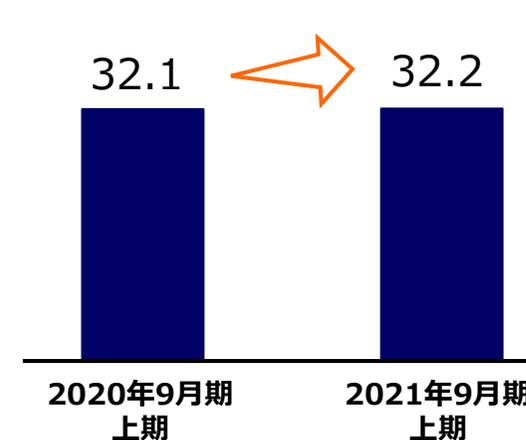
## 営業利益 (億円)



**営業利益増  
+4.8**

・販売管理費の増加を  
吸収し増益

## 経常利益 (億円)



**経常利益 横ばい  
+0.1**

・Air Mauritius関連の  
正味費用(5.0億円)を  
第1四半期に計上も、  
売上総利益の増加により、  
横ばい

- 第2四半期(1月-3月)の概況
  - ・売上高は、第1四半期に続き、増収基調を維持
  - ・利益は、採算性が改善したことに加え、Air Mauritiusの影響がなくなったことにより、全ての利益項目で増益

(億円)

	2021年9月期 第1四半期	前年同期比 ( )内は増減率	2021年9月期 第2四半期	前年同期比 ( )内は増減率	2021年9月期 上期	前年同期比 ( )内は増減率
売上高	38.2	+1.3 (+3.4%)	48.3	+2.4 (+5.1%)	86.5	+3.6 (+4.4%)
売上総利益	26.7	▲3.6 (▲12.0%)	41.7	+10.2 (+32.2%)	68.4	+6.5 (+10.6%)
販売費・一般管理費	16.8	+1.5 (+9.8%)	15.4	+0.2 (+1.4%)	32.3	+1.7 (+5.6%)
営業利益	9.8	▲5.1 (▲34.3%)	26.2	+9.9 (+61.1%)	36.1	+4.8 (+15.5%)
経常利益	6.9	▲8.8 (▲56.1%)	25.3	+9.0 (+54.8%)	32.2	+0.1 (+0.3%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2.7	▲7.9 (▲74.4%)	18.9	+7.5 (+65.3%)	21.6	▲0.5 (▲2.0%)
売上高総利益率	69.9%	▲12.2pt	86.4%	+17.7pt	79.1%	+4.4pt
売上高営業利益率	25.7%	▲14.7pt	54.4%	+18.9pt	41.7%	+4.0pt
売上高当期純利益率 <sup>※</sup>	7.1%	▲21.7pt	39.2%	+14.3pt	25.0%	▲1.6pt

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益を示す

- リースファンド事業は、回復基調が継続、上期予想比では大幅に増加
- 不動産ファンド事業は、増収基調が継続、不動産小口化商品の売上高としては過去最高

(億円)

	2020年9月期 上期	2021年9月期 上期	前年同期比 ( )内は増減率	2021年9月期 上期予想 (10/30公表)	上期予想比 ( )内は増減率	2021年9月期 通期予想 (10/30公表)	進捗率
リースファンド事業	73.7	67.9	▲5.8 (▲7.8%)	54.2	+13.7 (+25.4%)	105.4	64.5%
不動産ファンド事業	5.7	13.3	+7.6 (+134.2%)	11.0	+2.3 (+21.7%)	20.0	66.9%
FinTech事業	-	2.1	+2.1 -	2.7	▲0.6 (▲20.9%)	6.5	33.5%
その他事業	3.5	3.0	▲0.5 (▲13.1%)	3.3	▲0.3 (▲9.2%)	6.7	45.4%
合計	82.9	86.5	+3.6 (+4.4%)	71.3	+15.2 (+21.4%)	138.6	62.4%

# リースファンド事業（1）概況

- 出資金販売額は、航空機を含めて販売が順調に推移し、コロナ禍発生前の水準に回復
- 組成は、前年同期比30.9%の減少となるも、通期予想達成を目指す

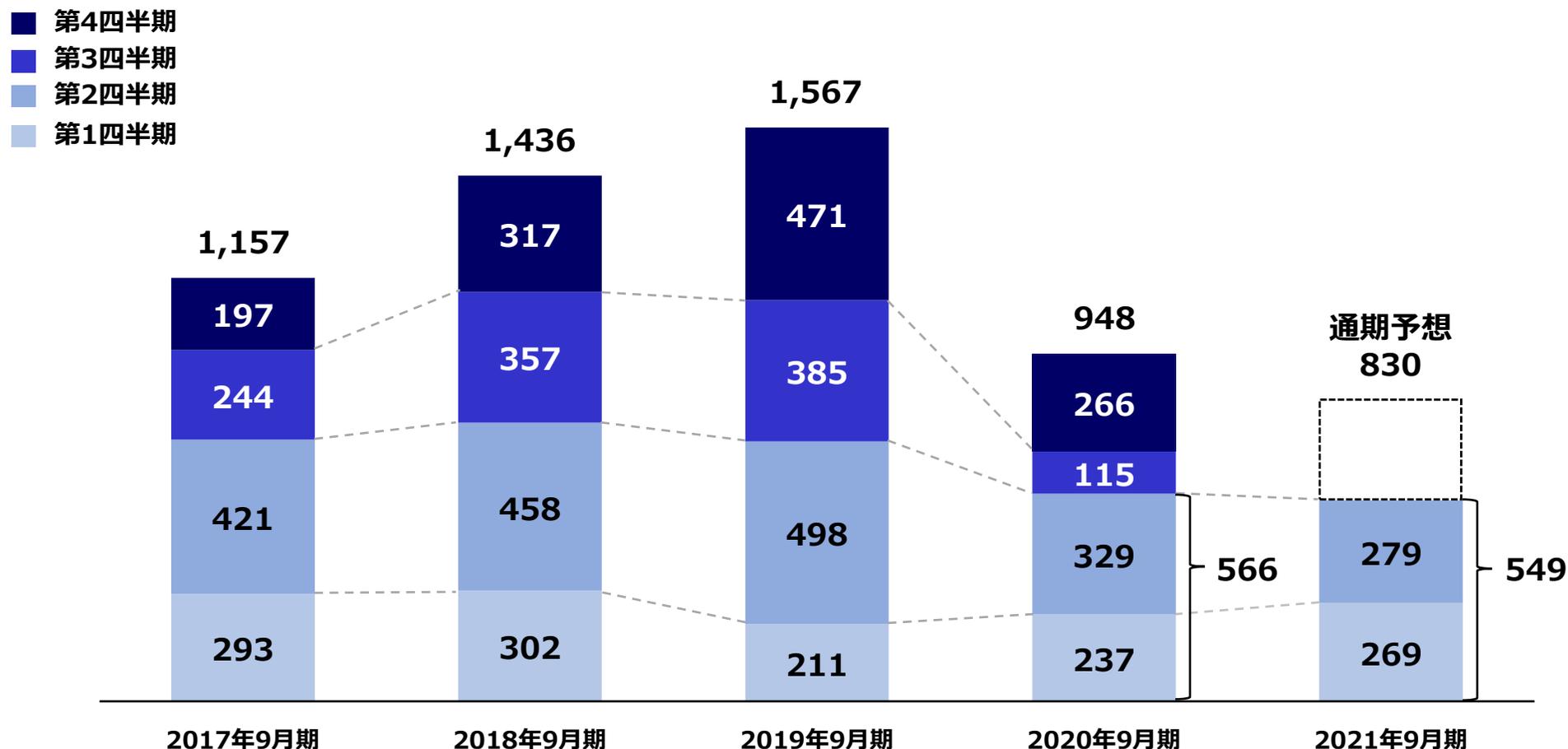
(億円)

	2020年9月期 上期		2021年9月期 上期		前年同期比	2021年9月期 通期予想 (10/30公表)	進捗率
	額	構成比	額	構成比			
売上高	73.7	-	67.9	-	▲7.8%	105.4	64.5%
出資金販売額	566.3	100.0%	549.2	100.0%	▲3.0%	830.0	66.2%
航空機	284.1	50.2%	222.7	40.5%	▲21.6%	-	-
船舶	207.5	36.6%	253.1	46.1%	+22.0%	-	-
コンテナ	74.7	13.2%	73.4	13.4%	▲1.8%	-	-
商品在庫	878.5	-	578.8	-	▲34.1%	-	-
組成金額	1,245.8	-	861.0	-	▲30.9%	2,300.0	37.4%

# リースファンド事業（2）出資金販売額

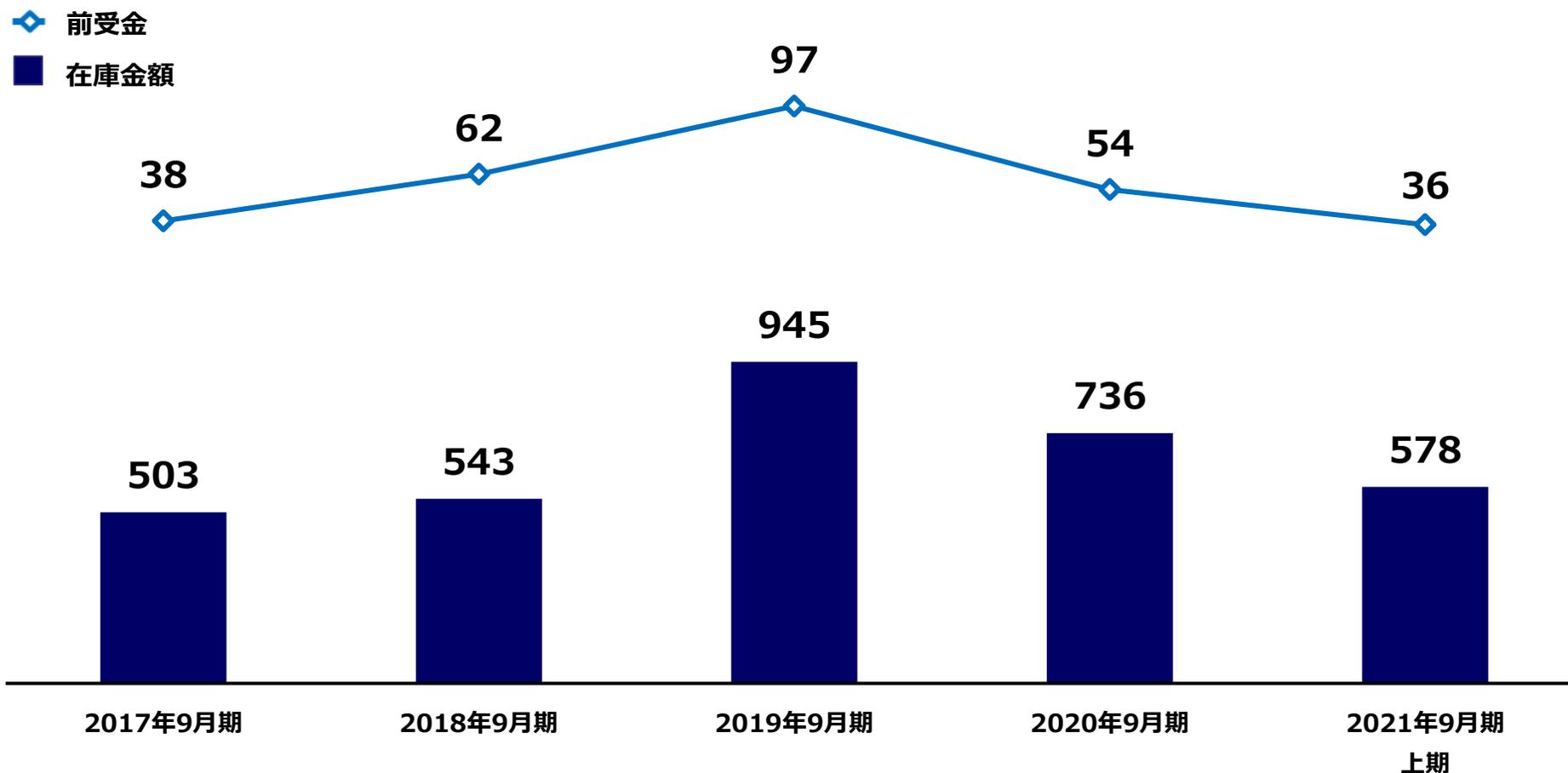
- 第2四半期(1月-3月)も堅調に推移し、コロナ禍発生前の水準に回復
- 上期の出資金販売額は549億円となり、通期予想830億円に対して66%の進捗

## 四半期別出資金販売額の推移（億円）



- 好調な販売状況を背景に在庫の減少傾向は続くが、通期予想達成に必要な商品在庫を確保

在庫金額および前受金の推移（億円）

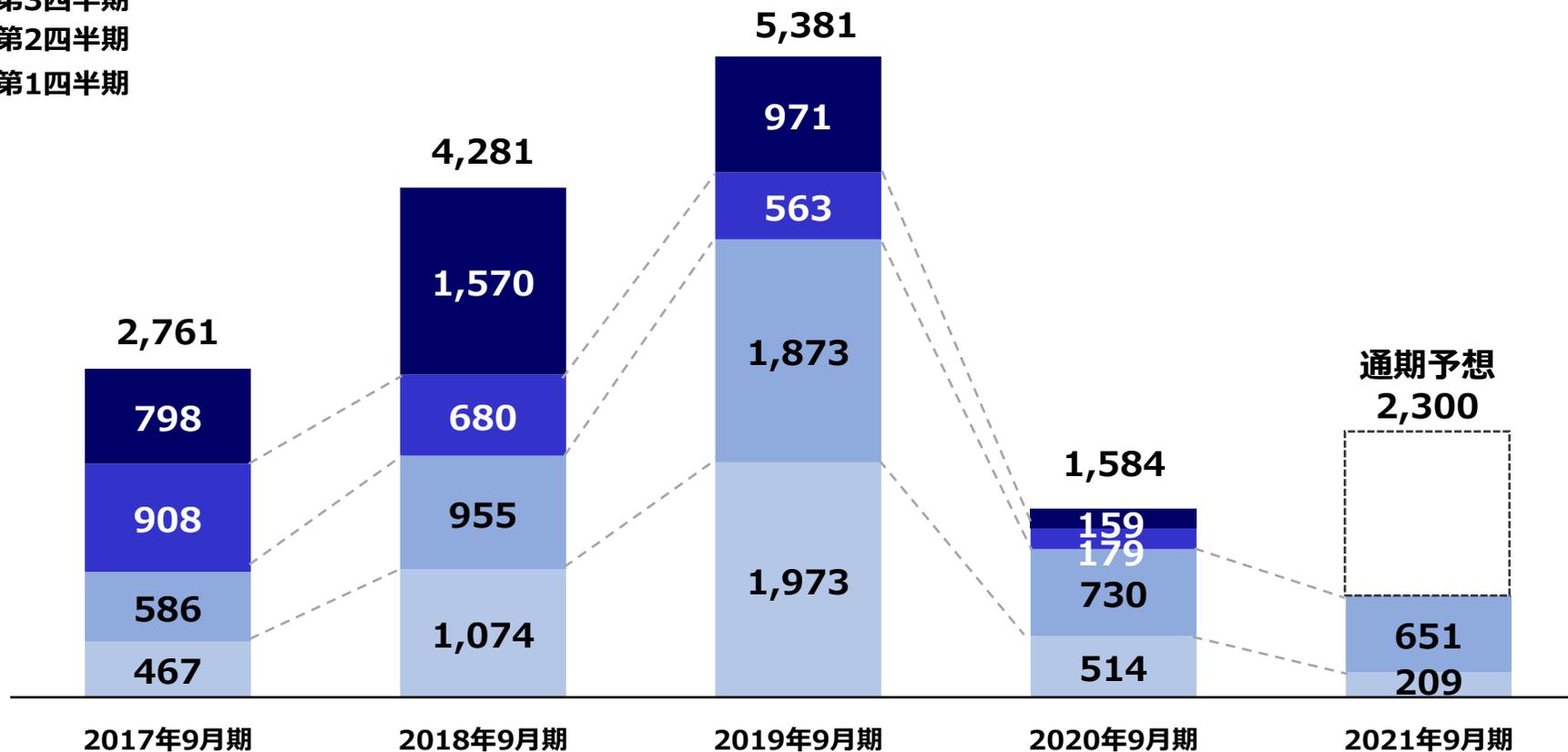


# リースファンド事業（４） 四半期別組成金額

- 借入人の選別を慎重に行いつつも、航空会社・海運会社とのリレーションを活かし、第2四半期(1月-3月)の組成は、第1四半期(10月-12月)と比較して大幅に増加

四半期別組成金額の推移（億円）

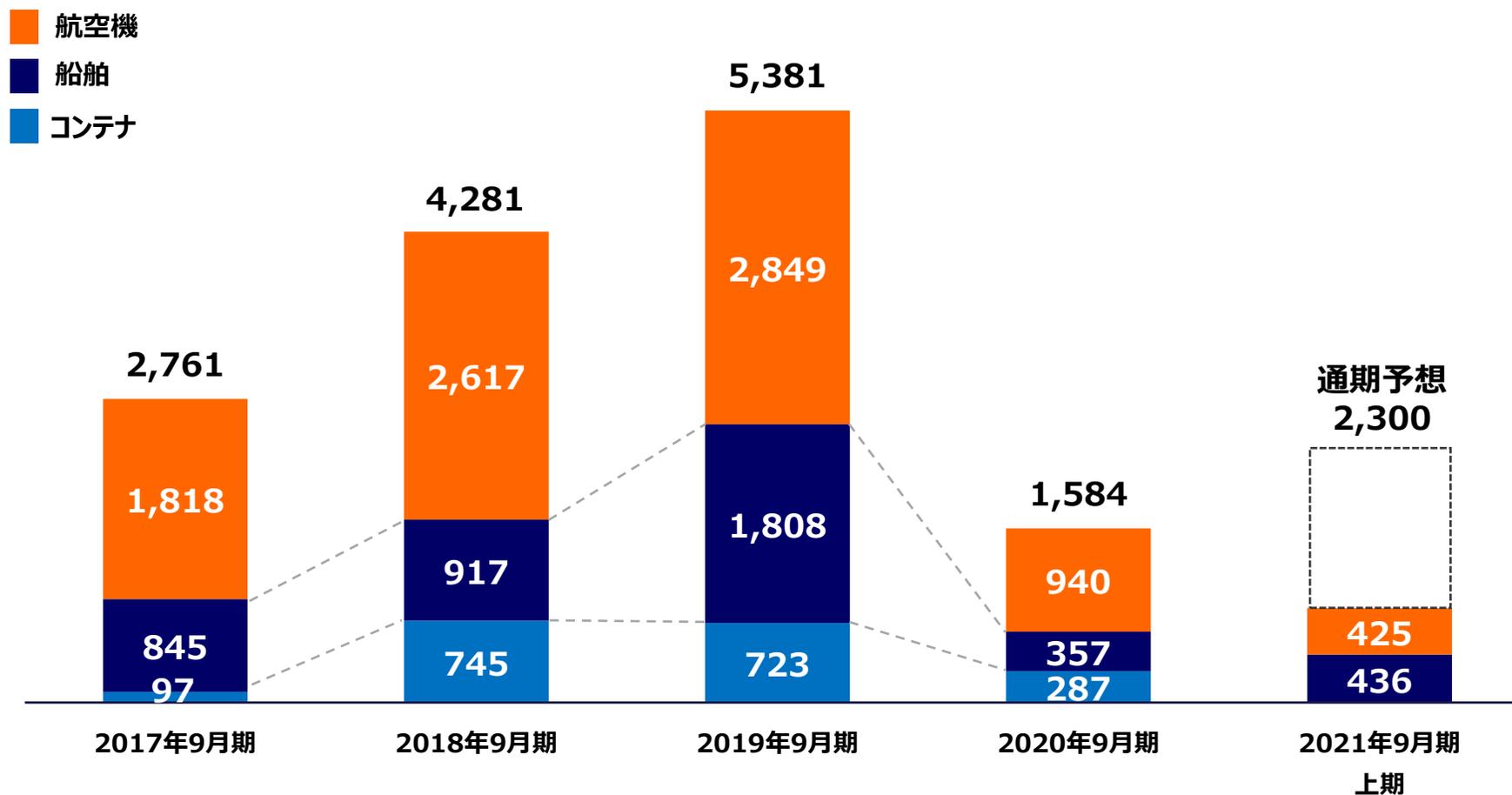
- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



# リースファンド事業（５）リース資産別組成金額

- 船舶の組成は、案件獲得に注力した結果、前年比で増加。航空機は、案件を厳選して組成

リース資産別組成金額の推移（億円）



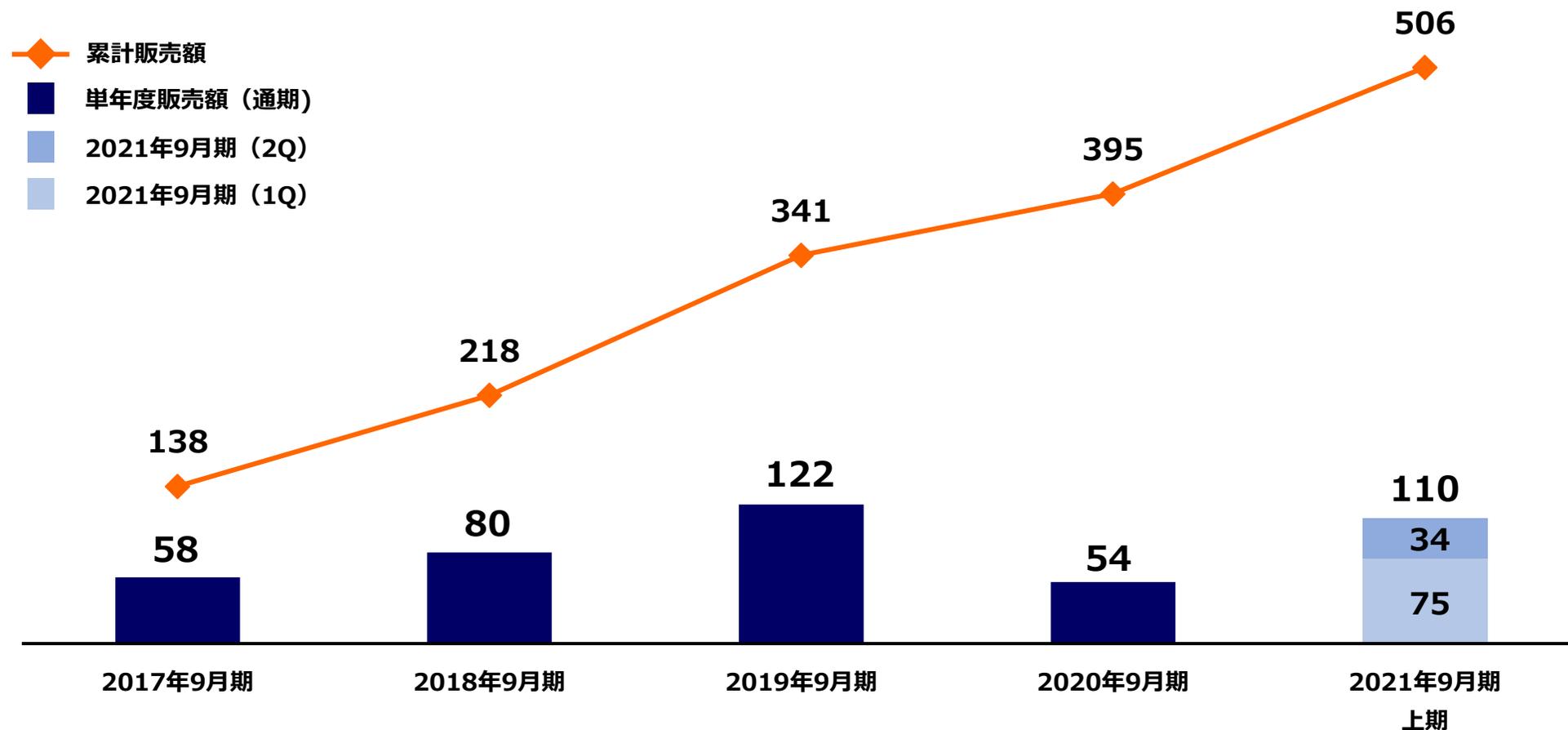
- 不動産小口化商品の売上高は、上期・通期ベースで過去最高
- 出口を迎えた不動産小口化商品2案件の対象不動産を売却、約3億円の手数料を獲得

(億円)

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2020年9月期 上期	2021年9月期 上期	前年同期比
売上高	5.5	6.9	42.5	6.8	5.7	13.3	+134.2%
不動産小口化商品	5.5	6.9	12.7	6.8	5.7	13.3	+134.2%
開発	-	-	29.8	-	-	-	-
販売（不動産小口化商品）	58.0	80.5	122.4	54.1	54.1	110.4	+103.9%
在庫（不動産小口化商品）	97.5	53.2	33.7	22.1	0.2	-	-
組成（不動産小口化商品）	137.9	31.5	102.5	40.8	16.4	86.0	+424.8%

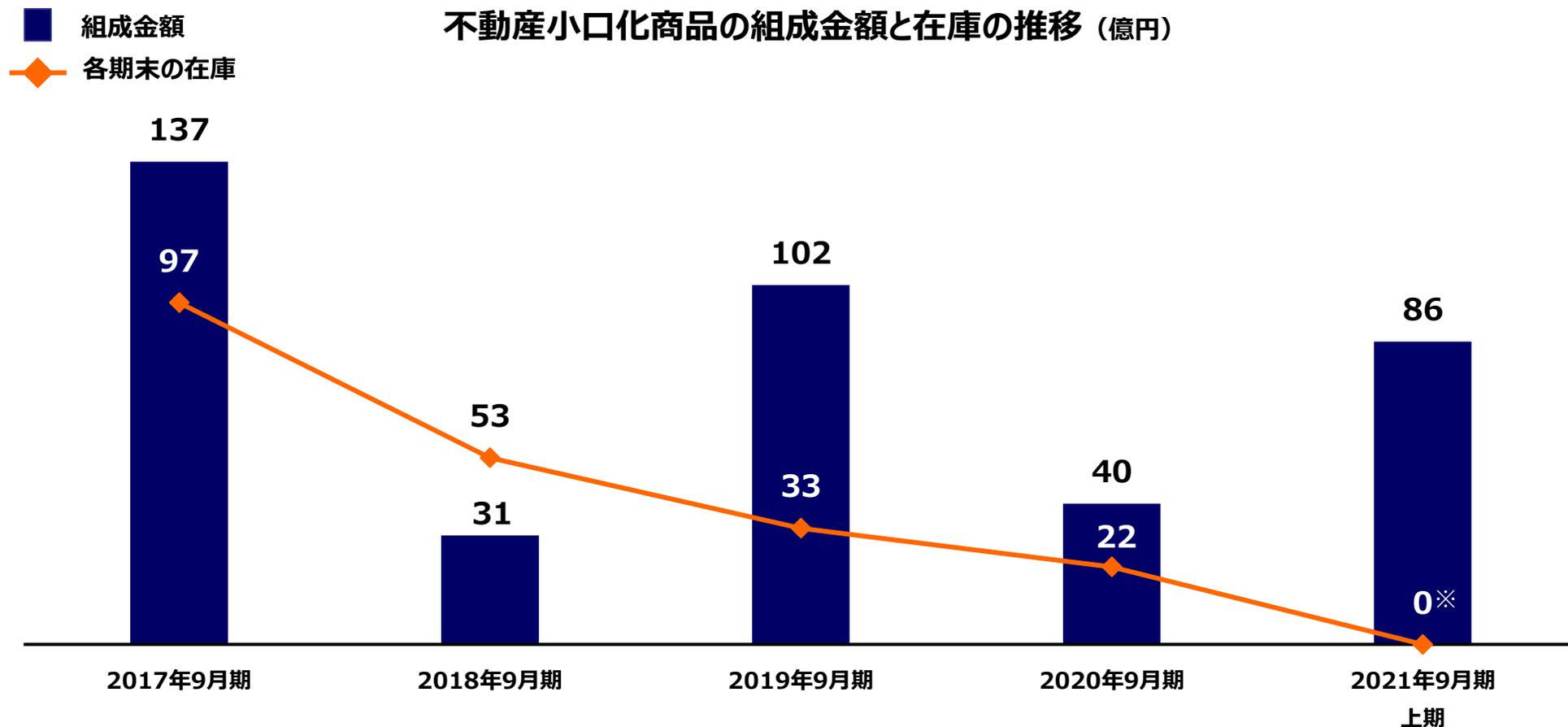
- 販売チャネルの拡大や顧客ニーズに合った商品性により、ほぼ即日完売が継続

## 不動産小口化商品販売額および累計販売額（億円）



- 上期末時点の不動産小口化商品の在庫はゼロとなるも、下期販売用として2案件を確保
- 自社開発案件の第2弾となる、「自由が丘一丁目計画」（目黒区）に着手

不動産小口化商品の組成金額と在庫の推移（億円）



- FinTech事業の第1弾となる「給与前払いサービス『Q給』」を4月20日にリリース

## 『Q給』のご利用イメージ

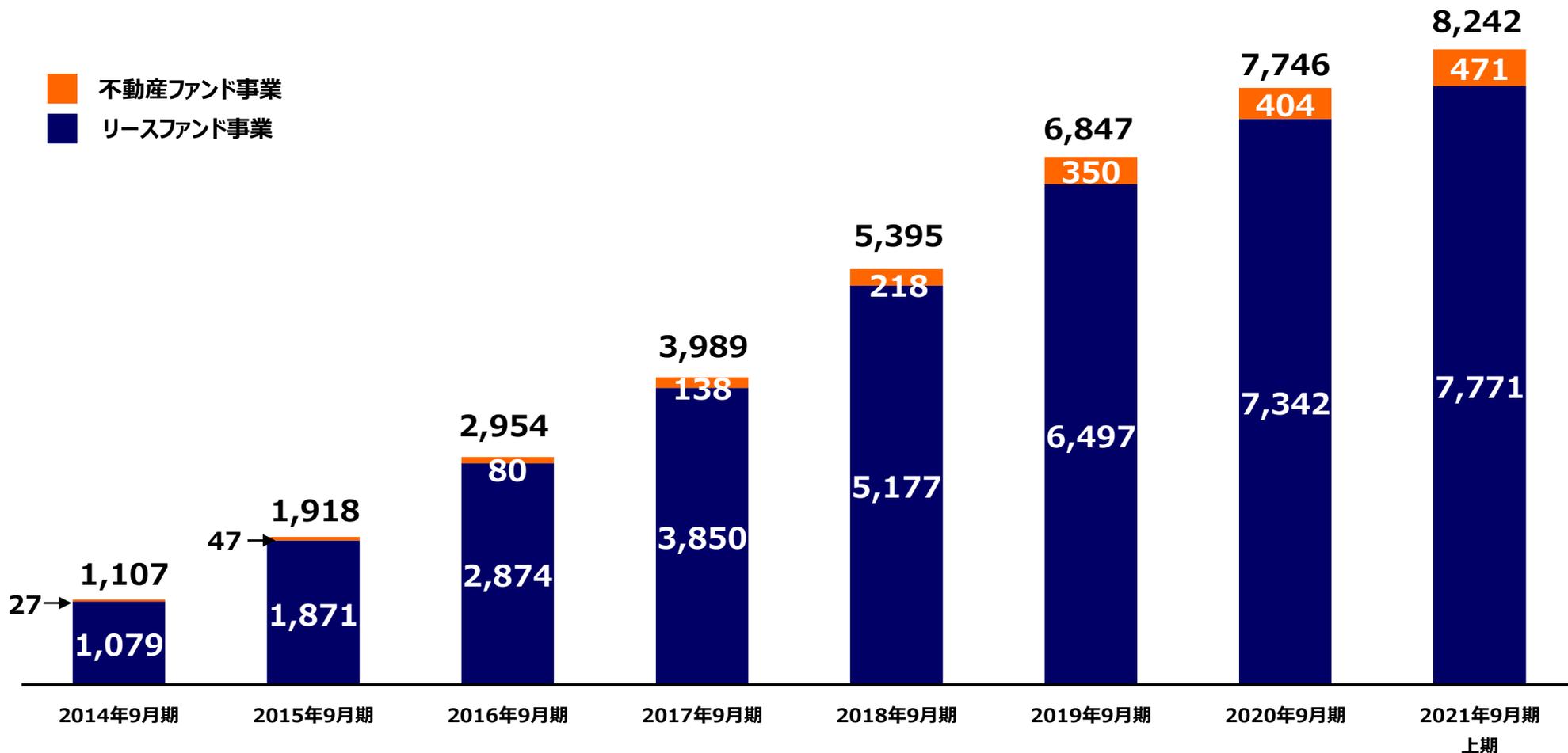


💡 企業にとって ... 福利厚生サービスの充実、定着率・応募求人数の上昇に期待

💡 従業員にとって... 急な資金ニーズに対応でき、多様なライフスタイルを実現

# 未償還残高※の推移

- 未償還残高1兆円の目標に対し、2021年3月末時点での未償還残高は8,242億円
- 償還を迎える案件での再投資需要の取り込みに注力



※ 未償還残高とは、リースファンド事業において投資家から出資を受けた金額および不動産ファンド事業において不動産小口化商品を投資家へ販売した金額の合計額から、既償還額を除いたもの

(億円)

# 連結損益計算書の概要

(億円)

	2020年9月期 上期	2021年9月期 上期	増減率
売上高	82.9	86.5	+4.4%
① 売上原価	21.0	18.1	▲14.0%
売上総利益	61.9	68.4	+10.6%
販売費・一般管理費	30.6	32.3	+5.6%
営業利益	31.3	36.1	+15.5%
② 営業外収益	12.3	14.3	+16.9%
③ 営業外費用	11.4	18.2	+59.5%
経常利益	32.1	32.2	+0.3%
税引前四半期純利益	32.0	29.6	▲7.4%
法人税等合計	9.6	8.4	▲13.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	22.1	21.6	▲2.0%

- ① 売上原価 : 顧客紹介者への支払手数料、リースファンド事業の案件組成コスト、Air Mauritius関連の評価損を含む  
 ② 営業外収益 : 一時的に立替えた出資金を投資家に販売する際に徴収する立替利息(受取利息として計上)、金銭の信託運用益等を含む  
 ③ 営業外費用 : 資金調達に伴う支払利息、JOL案件に伴うドル調達の支払利息、Air Mauritiusの関連費用を含む

# 連結貸借対照表の概要

(億円)

資産	2020年9月期	2021年9月期 上期末	対前期末比
<b>流動資産</b>	<b>1,264.6</b>	<b>1,127.3</b>	<b>▲137.3</b>
現金預金	271.5	323.3	+51.8
① 商品出資金	396.1	272.0	▲124.1
② 金銭の信託(組成用航空機)	340.3	306.8	▲33.5
③ 販売用航空機	146.6	-	▲146.6
④ 貯蔵品	0.1	143.1	+143.0
⑤ 組成用不動産	22.1	6.7	▲15.4
固定資産	63.8	62.3	▲1.5
<b>資産合計</b>	<b>1,328.5</b>	<b>1,189.7</b>	<b>▲138.8</b>
負債・純資産	2020年9月期	2021年9月期 上期末	対前期末比
<b>流動負債</b>	<b>832.1</b>	<b>654.3</b>	<b>▲177.8</b>
短期借入金等	728.7	561.5	▲167.2
SPCノンリコースローン(1年以内)	14.0	20.6	+6.6
⑥ 前受金	54.5	36.5	▲18.0
固定負債	221.4	247.9	+26.5
長期借入金等	92.0	117.7	+25.7
SPCノンリコースローン	125.4	125.1	▲0.3
<b>負債合計</b>	<b>1,053.6</b>	<b>902.2</b>	<b>▲151.4</b>
純資産合計	274.8	287.4	+12.6
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,328.5</b>	<b>1,189.7</b>	<b>▲138.8</b>

- ①商品出資金：リースファンド事業において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金  
 ②金銭の信託(組成用航空機)：航空機リース案件に係る信託受益権の在庫  
 ③販売用航空機⇒④貯蔵品：Air Mauritiusを賃借人とするオペレーティング・リース案件の航空機（2021年9月期第2四半期に貯蔵品に振替）  
 ⑤組成用不動産：不動産小口化商品の在庫（自社開発中の「自由が丘一丁目計画」の不動産を含む）  
 ⑥前受金：リースファンド事業に係る手数料の前受金を含む

## 主な経営指標

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期 上期
配当性向	43.0%	49.4%	46.9%	88.6%	50.3% ※1
ROE	45.5%	33.4%	32.3%	3.8%	14.8% ※2
自己資本比率	29.5%	34.5%	26.0%	20.5%	24.0%
経常利益率	65.1%	57.3%	54.1%	13.5%	37.3%

※1 配当性向は2021年9月期の予想配当性向を掲載

※2 ROE（親会社株主に帰属する四半期純利益×2）÷自己資本（2021年9月期 期首・上期末平均）×100

## 外部からの評価



### <JPX日経400>

東京証券取引所に上場する約3,700社の中から、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数。  
F P G は、2016年から5年連続で採用されている。



### <S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数>

日本市場の代表的な株価指数であるTOPIXをユニバースとし、環境情報の開示状況、炭素効率性の水準に着目して構成銘柄のウェイトを決定する指数。

※3 2021年3月現在

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

## 【お問い合わせ】

株式会社 F P G 経営企画部

TEL : (03) 5288-5691

E-mail : ir@fpg.jp

URL : <https://www.fpg.jp>